

論文番号 93

担当

国税庁 醸造研究所

題名 (原題/訳)

清酒中に存在する抗酸化性物質

執筆者

太田剛雄 高下秀春 轟木康市 岩野君夫 大場俊輝

掲載誌 (番号又は発行年月日)

醸協 87 (12) 922-926, 1992

キーワード

清酒 抗酸化性 ヘミセルロース フェルラ酸 チロソール

要旨

抗酸化性は、味噌、醤油、テンペ等多くの醸造食品にあり、清酒の原料である米も抗酸化物質が存在する事が知られている。しかし精白米、麴、清酒自体に関する報告は見あたらない。

そこで、これら清酒原料および清酒の抗酸化性について検討した。

その結果、清酒及び原料米に抗酸化性がみられ、清酒は比較的強かったことより、製麴中あるいは、発酵もろみ中で不活性な前駆物質から抗酸化活性物質が精製されるものと推察された。また、清酒中の活性画分を分離したところ、抗酸化活性物質の一つとしてフェルラ酸やチロソールを同定した。